

2023年度 事業報告書

（2023年4月1日～2024年3月31日）

一般社団法人 日本真空工業会（以下、JVIA）は辻村 学 会長の下で、基本方針である定款第3条の「(JVIAの目的は) 国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」に則って活動を行った。

今年度はJVIAの長期ビジョンに基づいて策定される「アクションプラン2024」の2年目に当たり、「社会的使命」と「会員の利益」の二つを機軸として、JVIAの「存在感のアップ」と「グローバル化」を具現化するべく、理事会、企画委員会、各専門委員会、ならびに関西支部を中心に活動を行った。

また、5月より新型コロナが5類に分類されたことを機に、コロナ禍前の活気を取り戻すべく、新たな取り組み等含め積極的な事業活動と会員勧誘活動を行った。

1. 2023年度のトピックス

- ・入会は正会員1社、賛助会員8社と過去最高水準となった。
正会員から賛助会員への変更1社、退会なし。
- ・JVIA事務所を文京区に移転した。
- ・創立40周年記念事業の準備委員会「J40プロジェクト」を発足した。
- ・経済産業省より「産業標準化事業表彰」の「産業技術環境局長表彰」を受賞した。
- ・会員連絡者業務説明会（旧会員連絡者会議）を12年ぶりに開催した。
- ・海外視察ツアー（インド ベンガルール）を実施した。

2. JVIA 活動内容の詳細

1) 関西支部

- ・第37回定時総会・講演会（Web併用）
6月7日（水） 於：アートホテル大阪ベイタワー
総会 出席会員数44名（出席19名、書面28名）
講演会 大阪公立大学大学院 教授 重川 直輝 様
「半導体デバイスプロセスに革新をもたらす異種材料直接接合」
聴講者49名（うちWeb参加3名）
懇親会 参加者41名
- ・秋季合同講演会（公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部との共催）
9月6日（水） 於：アートホテル大阪ベイタワー
① カルテック株式会社 社長 染井 潤一様
「光触媒の実用化と将来性」
② 大阪大学 産業科学研究所 教授 谷口 正輝 様
「データマネジメントビジネスを生み出す1分子解析技術」
聴講者 JVIA 33名（うちWeb 5名）、学会 13名（うちWeb 7名）
懇親会 参加者 29名
- ・見学会（11月10日）、若手社員交流会（6月23日、12月9日）、KV会（4月、10月中止）

2) 企画委員会

- ・JVIA 表彰 2022 表彰式
5月26日（金）社員総会記念講演会後、芝パークホテルにて昨年に引き続き開催。受賞内容は真空ジャーナルにて紹介した。
- ・創立40周年記念事業の準備委員会「J40プロジェクト」（委員長：寺尾企画委員長）を発足し、2025年の創立40周年に向けて活動を開始した。
- ・海外視察ツアー
9月11日（月）～15日（金）、インド ベンガルールへ「electronica India 2023」他企業視察を実施した。参加者22名。
- ・会員連絡者業務説明会
9月29日（金）、12年ぶりの復活として、会員連絡者業務説明会および懇親会を㈱荏原製作所本社にて開催した。日頃の業務の悩みなどを共有した。参加者45名。
- ・第9回 Vacuum ビジネスマッチング 2023（旧サプライヤ交流会）
11月29日（水）、東京ビッグサイト近郊 東京ファッションタウン（TFT）ビル908会議室にて開催した。プレゼン（5社）および懇親会で、参加者88名でコロナ禍前の参加人数に戻った。
- ・安全保障貿易管理説明会（SEAJ/JVIA 合同セミナー）
12月6日（水）、講師 CISTEC（安全保障貿易情報センター）上席主任研究員 久保田様による「米国輸出管理規則（EAR）を中心とした安全保障貿易/輸出規制の基礎知識と最新動向について」を Web にて開催した。受講者300名超
- ・若手交流会（JVIA—EAST）
12月2日（土）、JVIA—EAST 若手ボーリング交流会を東京ドームシティで開催した。参加者18名。
- ・身近な真空調査小委員会
真空技術を広め会員事業機会拡大につながる活動として、真空展 2023 において「真空実験コーナー」「真空なんでも相談コーナー」を開設した。

3) 教育委員会

幅広い産業の基盤技術である真空技術の維持・向上を図る目的で、本年度は下記の真空教育講座を実施した。

- ・第1回新演習講座・真空排気系計算コース実践編
4月14日（金）12：30～16：30、機械振興会館において開催した。
講師 岡田繁信氏、受講者35名（定員30名）。
- ・第28回真空ウォーキングコース（実習で体験する真空基礎講習会）
8月28日（月）～9月1日（金）、於：工学院大学 八王子キャンパス、受講者144名（定員）前回比16名。コロナ禍の影響で見送っていた「交流会」を復活し盛況のうちに終えた。
- ・「はじめて真空」「真空入門講座」
真空展においてリアル開催を実施した。（東京ビッグサイト）
「はじめて真空」 受講者39名（3日間）、「真空入門講座」 受講者73名（3日間）

4) 出版委員会

JVIA の活動を広く会員各位および社会に公告するため、真空ジャーナルを年4回発行（毎回：1,100

部）した。No. 186（10月号）は「環境活動報告 2023」合併号、No. 187（1月号）では2022年度JVIA表彰の受賞製品を紹介した。

- ・「J40プロジェクト」JVIA40周年記念号

基本構想（読者ターゲット、掲載内容、予算等）の検討を開始した。

5) 規格標準委員会

- ・ISO/TC112 で取り扱う真空技術に係わる国際規格の整備事業を公益社団法人 日本表面真空学会と共に「規格標準合同検討委員会」として活動を行った。

- ・産業標準化事業表彰受賞

経済産業省より、2002年からの長年の合同検討委員会の活動に対し、「令和5年度産業標準化事業表彰」の「産業技術環境局長表彰」を受賞した。

10月17日の表彰式（都市センターホテル）には、JVSS 吉田委員長とJVIA 神田委員長が参加。

- ・規格標準報告会

12月1日（金）10：30～12：10、真空展においてリアル開催を実施した。（東京ビッグサイト）
テーマ「核融合と真空技術の国際規格の動向」聴講者 37名

- ・主なISO関連活動（ISO/TC112）

- (1) WG1 ISO/DIS 21360-6 クライオポンプの性能試験方法・・・60.00
- (2) WG1 ISO/DIS 21360-5:2020 NEGポンプの性能試験方法・・・60.60
- (3) WG2 ISO/CD TS 6737 高安定電離真空計の特性・・・60.60

- ・主なJIS関連活動

- (1) JIS Z 8617 ダイアグラム用図記号
- (2) JIS B 8365 真空装置用クランプ系継ぎ手の形状
- (3) JIS Z 8126-2 真空ポンプ用語

6) 技術フォーラム委員会

- ・真空フォーラム・シンポジウム

12月1日（金）、真空展（東京ビッグサイト）においてテーマ「量子コンピュータの現状と将来」として開催した。

ほぼ満席に近い聴講者で、4講演とも興味深い内容だった。想定を超える多数の質問が飛び交い、量子コンピュータへの関心の高さが伺えた。聴講者 85名

- ・移動例会および研究室訪問

2月15日（木）～16日（金）、移動例会として分子科学研究所大森研究所（愛知県岡崎市）訪問。

7) 統計委員会

- ・2023年度の統計参加会社数は46社で、四半期ごとに受注・売上データを集計し年間で4回プレスリリースを実施した。四半期毎の国際統計事業は日本（JVIA）、欧州（EVTA）、米国（AVEM）の3団体から真空コンポーネント製品の売上データの収集を行った。

2023年度第3四半期より、米国（AVEM）が解散・離脱したため、今後の国際統計の在り方について慎重に議論を進めている。

- ・毎年1回開催される国際統計会議（ISVT）は開催を見送った。次年度は日本（JVIA）が当番国となる。Webにて開催予定。

8) 環境委員会

- ・会員各社に環境活動調査を実施し、「環境活動報告書 2023」を真空ジャーナル 10月号に合併号として掲載した。
- ・環境トピックス「初心者向け環境法令 Basic 講座」
11月30日（木）、真空展（東京ビッグサイト）において開催した。
聴講者 16名（申込 24名）
- ・「環境教育講座」（SEAJ/JVIA 合同セミナー）
2月1日（木）、コモレ四谷会議室からウェビナー形式にて配信した。受講者 107名

9) 安全委員会

- ・作業安全教育講座「VACUUM2023 真空展 作業安全教育講座」
11月30日（木）、真空展（東京ビッグサイト）において開催した。受講者 24名（申込 28名）
- ・国内工場視察
2月8日（木）、朝日プリンテック阪神工場（大阪府大東市）見学実施、参加者 10名
- ・安全教育講座 in 関西
2月9日（金）、日本電子株式会社会議室にて開催した。受講者 9名（申込 13名）

10) 展示会委員会

- ・「VACUUM2023 真空展」
11月29日（水）～12月1日（金）の展示会を企画・開催した。（東京ビッグサイト）
展示会は日刊工業新聞社がイベント運営担当を行い、下記併設展と同時開催。
【併設展】 国際ロボット展、洗浄総合展、SAMPE Japan 先端材料技術展、高精度・難加工技術展、表面改質展、KOKOKARA Fair in Autumn
出展者 77社・団体、140小間（前年比 出展者 13%増、小間 8%増）
3日間の入場者 11,034名（2022年は 6,516名）
- ・基調講演会
11月30日（木）講師：東京大学 情報基盤センター 教授 雨宮 智浩 様
テーマ：「デジタルとフィジカルの交差点～メタバースとVRによる社会変革に向けて～」
- ・主催者ゾーン
 - ① 真空含浸装置（谷沢菓機工業様ご提供）を使い、フリーズドライ果実にチョコレートを浸透させ、試食する体験コーナー
 - ② 関西大学 ホログラムの実演コーナー
 - ③ 東京大学 VR・メタバースを体験できるコーナー
 - ④ JVIA 紹介動画放映

11) 事務局

会員会社とのコミュニケーション

- ・5月26日（金）、「定時社員総会」「JVIA 表彰 表彰式」「記念講演会」「懇親会」を開催した。
記念講演会：公益社団法人 日本表面真空学会 会長 福谷 克之 様
「JVIA と JVSS の協力関係強化とアジアへの展望」
会場：芝パークホテル、懇親会参加者 110名
- ・9月29日（金）会員連絡者業務説明会を開催した。⇒「2）企画委員会」参照

- ・11月29日（水）JVIA ビジネスマッチング 2023 を開催した。 ⇒ 「2）企画委員会」参照
- ・1月19日（金）、「賀詞交歓会」を4年ぶりに飲食ありで芝パークホテルにて開催した。
参加者 154 名。
- ・2月25日（日）JVIA 事務所を文京区に移転した。

公益社団法人 日本表面真空学会との協業

- ・規格標準合同検討委員会にて ISO/TC112（真空技術）と JIS 真空関連規格の作成活動を実施した。産業標準化事業表彰受賞 ⇒ 「5）規格標準委員会」参照
- ・VACUUM2022 真空展を共同主催で行った。
- ・第 21 回真空技術者資格認定試験を行った。

内外関係機関等との交流および協力

- ・国内関連諸団体との情報交換やセミナー等の協力共同事業として、11 の団体の展示会、講演会に協賛名義許諾の発行を行った。
- ・11月25日（土）、「第3回S J 会ゴルフコンペ」（SEAJ/JVIA 共同主催）を東京湾カントリークラブにて開催した。参加者 20 名。
- ・11月30日（木）、ホテルインターコンチネンタル東京ベイにて KOVRA と JVIA の懇親会を実施した。参加者は KOVRA 8 名、JVIA 5 名。

経済産業省産業機械課との連携

- ・「生産性向上特別措置法案」に関わる証明書発行書業務を行い、今年度の発行件数は 34 件であった。

会員勧誘活動の件

- ・下記展示会に JVIA ブースを出展し、JVIA 紹介、新規会員募集を行った。
SEMICON Japan 2023 2023 年 12 月 13 日（水）～15 日（金）

3. 事業報告の附属明細

1) 出版物

- ・「環境活動報告書 2023」－環境委員会

2) 会員移動

年度内の会員の移動は以下の通りである。

【会員数】

※：区分変更 1 社含む

会員区分	23. 3. 31 現在	入会(区分変更)	退会(区分変更)	24. 3. 31 現在
正会員	46	1	1 ※	46
賛助会員	49	9 ※	0	58
特別会員	12	0	0	12
計	107	10	1	116

会員区分	23. 3. 31 現在	入会	退会	24. 3. 31 現在
シニア会員	16	2	1	17

【入会】正会員：コアテクノロジー株式会社

賛助会員：株式会社メテクス、東レエンジニアリング先端半導体 MI テクノロジー株式会社、
株式会社タアフ、株式会社大楨精機、CKD日機電装株式会社、
東京エレクトロン株式会社、ナグモ産業株式会社、株式会社コスモ・サイエンス

【退会】なし

【区分変更】正会員⇒賛助会員：株式会社ヒラノ K&E

※事業報告書の内容を補足すべき重要事項はないので附属明細書は作成しない。

以 上